

プログラム番号	06061
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	立命館アジア太平洋大学 経営管理研究科		
②学長名	Monte Cassim (モンテ・カセム)		
③所在地	〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	アドミSSIONズ・オフィス (国際)	
	担当者氏名	シヨーン ハン シュウ	e-mailアドレス apugrad@apu.ac.jp
	電話・FAX番号	電話：0977-78-1119、FAX：0977-78-1121	
⑤ホームページ URL	http://www.apu.ac.jp/graduate/		
⑥大学院在学留学生数	184人 (うち、国費留学生 34人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	移行経済・経営システム・デザイン
②プログラムの形態	博士前期課程 (2年間)
③実施研究科・専攻	経営管理研究科 経営管理専攻
	(所在地) 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
④連携大学・研究科・専攻名	なし
⑤受入れ学生数	10人 (うち研究留学生優先配置人数：4人) (うち日本人学生数：3人)
⑥担当教員数	合計29人 (うち専任：19人、兼任：0人、非常勤：10人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 経営管理研究科・研究科長
	研究科長名 難波 正憲

【3. プログラムの内容】

1. プログラムの概要

- (1) プログラム名：**移行経済・経営システム・デザイン(Comparative Institution Design for Transition Economy and Business Management)**
- (2) プログラムの目的：経済のグローバル化、IT技術の普及、人材・技術・資金・知財のモビリティの世界的潮流の視点に立脚し、発展途上国が自国の文化、環境を生かした経済制度を構築し、自立的・持続的・個性的な新産業・新事業創出を促進する制度設計、企業改革の能力開発をめざしています。
- (3) 学習・研究対象：「移行」の対象として、①市場化経済への移行、②伝統的経済システムのグローバル経済への移行・再位置付け、の2つを包含し、ここにおける、経済・経営改革のための制度・システムの設計・構築・運用を学習・研究の対象とします。
- (4) 対象と人材像：政府関係機関職員、経営幹部。経済のグローバル化のなかでネットワークを構築しながら、世界における人材・技術・資金・知財のモビリティを自国の経済・経営の発展に取り込み、活躍できるグローバル人材の育成。
- (5) 特色：**全科目英語履修**による世界標準MBAコースの基盤に、比較制度分析、ナショナルイノベーション・システムの基礎理論を学習します。日本経済・経営発展史、日本型イノベーションシステムの学習で具体的な理解を深めます。さらに、ケーススタディ、フィールド調査を実施して、自国の経済制度設計、産業構造変革、企業のイノベーション推進能力を涵養します。

2. プログラムの背景、意義

発展途上国が、経済のグローバル化の中で、IT技術の普及、人材・技術・資金・知財のモビリティの潮流を自国の経済・経営の発展に生かすには、自国の特徴、強みを反映させた経済制度・企業システムの改革が重要課題となっています。

世界市場に対し、低価格・普及品で市場参入した後は製品・サービスの個性化、差異性の提供が重要となります。この実現のためには、①市場化経済への移行、②伝統的経済システムのグローバル経済への移行、再位置付け、が必要となります。そのためには、経済・経営改革のための制度・システムの設計・構築・運用の能力を涵養する必要があります。

ここから、経済制度の多様性を前提とする「比較制度分析」の視点から、自国の強み、弱みを考慮した経済制度を設計・改革し、その上で、世界の人材・技術・資金・知財を組み合わせる「**連携イノベーション**」を展開する考え方が有効となります。

この観点から、世界標準MBAコースの基盤の上に、「比較制度分析」と「ナショナルイノベーション」を組み合わせた「移行経済・経営システム・デザイン」を学習することで、上記の能力涵養をめざしています。

3. 使用言語

講義、研究指導等はすべて「英語」で行います。また、大学院学生への日常的な履修指導・援助や学生生活のサポートなどについても英語で対応できる職員を多数配置しており、日本語能力の不十分な留学生が安心してキャンパスライフを送ることのできる環境を整えています。

4. 修了後に想定される進路

本プログラムは、特に、発展途上国において、自国の文化、環境を生かした経済制度を構築し、自立的・持続的・個性的な新産業・新事業創出を促進する制度設計、企業改革を担える人材を育成するものであり、修了者は、各国・地域の企業、行政機関、国際協力機関での活躍が期待されます。

5. 選考方法

選考は、書類選考（大学院入学資格の確認、学部の成績、英語力、推薦書、研究実績等）および面接によって行い、各国・地域の優秀な学生を受け入れます。詳しくは、APUのホームページをご覧ください。

<移行経済・経営システム・デザイン カリキュラム>

1. 科目構成

経営管理専攻は、必須科目、専攻科目、演習科目で構成しています。

科目	単位数
必須科目 (MBAコア科目)	18 単位
選択科目 (専攻科目)	16 単位
演習科目	8 単位
自由選択	6 単位
合 計	48 単位

2. 開講科目と分野グループ

「移行経済・経営システム・デザイン」は、国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラムとして、新たに設定した分野グループです。

経営管理専攻は、5つの分野に分かれており、他の分野も選択可能です。

分野	総合経営管理	ファイナンス	マーケティング と国際ビジネス	イノベーション と技術経営	移行経済・ 経営システム・ デザイン
必須科目 (18単位)	計量分析と統計学、マネジリアル・エコノミクス、経営戦略、組織行動、技術経営、財務会計、管理会計、ファイナンス、マーケティング				
選択科目 (自由選択 6単位含む) (22単位)	国際政治経済研究、ビジネス法と企業倫理、人材マネジメント、交渉とプレゼンテーション	経営財務、金融リスク管理、金融機関の金融市場、財務管理、投資分析、財務会計研究、管理会計研究	国際経営研究、アジア企業経営研究、マーケティング戦略、マーケティング・リサーチ、製品開発戦略	生産管理、IIT経営、サプライチェーン・マネジメント、技術戦略、起業家精神と新事業	日本経済・経営発展史、ナショナルイノベーション・システム、開発経済、プロジェクト管理、技術開発、アジア太平洋比較経済発展論、持続可能開発、特殊講義
演習科目 (8単位)	マネジメント・セミナーⅠ、マネジメント・セミナーⅡ、論文指導、レポート指導、フィールド・スタディ				

(注) カリキュラムは変更になる場合がありますので、予めご了承ください。